

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 516

政策体系	33	事業分類	ハード事業	所管部局	土木建築部 道路河川課	
会計	一般会計	科目	8. 土木費 - 2. 道路橋 - 3. 道路橋 現年			
事業名	道路新設改良事業					
細事業名	電源立地地域対策補助金事業 保野田片野線					
				評価表作成者	土木建築部 道路河川課	吉田泰久

1. 事業の概要

舗装改良 延長 1,070m 幅員 7m

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け 効率的で効果的な土木行政を確立する。
②事業を実施する必要性 集落間を結ぶ重要な幹線道路であるが、老朽化により舗装の劣化が著しいため早期の改修が必要である。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円				6,419	10,000		
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0	0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0	0		
	国・府支出金	千円				5,000	4,400		
	地方債	千円				0	5,600		
	一般財源	千円				1,419	0		
職員等の従事人員		人/年	—			0.10			
人件費		千円	—			700			
事業費総額		千円	—			7,119			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。
 ※6月補正予定(補正後17,100千円)

4. 主な事業費の内訳

工事請負費 6,418,650円

5. 事業結果の概要

舗装改良工事 1件

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

道路改良事業については「総合振興計画・実施計画」に基づき事業執行して進捗を図っており、今後も計画路線が早期に完成できるよう効果的で経済的な手法を精査しながら進めていきたい。また、「実施計画」については計画路線やその優先順位など毎年度見直しをしながら事業展開していくこととしている。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

■平成21年度の所属長評価